

スタートガイド

VMware Player 3.1

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサポートします。このドキュメントの最新版をチェックするには、 <http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参照してください。

JA-000360-00

vmware[®]

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/pubs/>) にあります
VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。

このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

Copyright © 1998–2010 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。本製品は、米国著作権法および米国知的財産法ならびに国際著作権法および国際知的財産法により保護されています。VMware 製品には、<http://www.vmware.com/go/patents-jp> に列記されている 1 つ以上の特許が適用されます。

VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

ヴァイエルムウェア株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

本書について	5
1 VMware Player について	7
VMware Player の用途	8
VMware Player の機能	8
2 VMware Player 向けのホスト システム要件	11
互換性のある仮想マシンおよびシステム イメージ	12
Virtual Symmetric Multiprocessing の使用	12
3 VMware Player でサポートされるホスト OS およびゲスト OS	13
64 ビット ゲスト OS 対応プロセッサ	13
4 VMware Player のインストールと実行	15
Windows ホストへの VMware Player のインストール	15
Linux ホストへの VMware Player のインストール	16
VMware Player の起動	18
VMware Player の終了	18
5 VMware Player のアンインストール	19
Windows ホストの VMware Player のアンインストール	19
Windows Vista または Windows 7 ホスト上の VMware Player のアンインストール	20
Linux ホスト上の VMware Player のアンインストール	20
インデックス	21

本書について

ここでは、『VMware Player スタートガイド』について説明し、VMware[®] の教育リソースへのリンクを提供します。

対象となる読者

本書は、これから VMware Player 3.1 をインストールして使用する方を対象としています。VMware Player 3.1 のユーザーには、仮想マシンまたは仮想アプライアンスを作成および実行するユーザーも含まれます。ソフトウェアベンダーまたは同僚から提供された構築済みアプリケーション環境をダウンロードして、安全に実行できます。

ドキュメントのフィードバック

当社では、ドキュメントを改善する提案をお待ちしています。本書に関するコメントがございましたら、docfeedback@vmware.com までフィードバックをお寄せください。

教育リソース

次の教育リソースをご利用いただけます。本書およびその他のドキュメントの最新バージョンにアクセスするには、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参照してください。

VMware プロフェッショナル サービス

VMware 教育サービス コースでは、広範な実践形式の演習を行い、ケース スタディの例を学ぶとともに、実務で参照できるように作られたコース資料を提供しています。コースは、オンサイト、教室およびオンラインで受講できます。オンサイトパイロットプログラムおよび実装のベストプラクティスとして、VMware コンサルティング サービスでは、ご使用の仮想環境の評価、計画、構築、および管理を支援する講義科目を提供しています。教育サービス、認証プログラム、およびコンサルティング サービスについての情報は、<http://www.vmware.com/jp/services> を参照してください。

VMware Player について

VMware Player は、仮想マシンを作成、構成、および実行できるデスクトップ アプリケーションです。

VMware Player では、次の機能を使用できます。

- Windows または Linux PC 上で実行できる仮想マシンを作成します。
- 仮想マシンを実行し、仮想マシンで提供されるセキュリティ、柔軟性、および移植性を容易に活用できるようにします。
- 仮想マシンからホスト マシンのすべてのハードウェア デバイス (USB ドライブなど) にアクセスします。

「ホスト」および「ゲスト」は、物理マシンおよび仮想マシンを指す用語です。

ホスト VMware Player ソフトウェアをインストールした物理コンピュータをホスト マシンと呼び、そのオペレーティング システムをホスト OS と呼びます。

ゲスト 仮想マシン内で実行するオペレーティング システムをゲスト OS と呼びます。仮想マシンはゲストと呼ばれます。

VMware Player のわかりやすいユーザー インターフェイスを使用して、仮想マシンを作成したり、VMware Workstation、ESX Server、VMware Server、VMware Fusion、および GSX Server で作成された構成済みの仮想マシンを実行したりできます。Windows ホスト マシンでは、VMware Player を使用することで、Microsoft Virtual PC と Microsoft Virtual Server の仮想マシン、および Symantec Backup Exec System Recovery (旧 LiveState Recovery) のシステム イメージを開いて実行できます。VMware Player では、仮想アプライアンスをダウンロードし、OVF (Open Virtualization Format) ファイルや OVA (Open Virtual Appliance) ファイルにアクセスすることもできます。VMware Player については、互換性のある仮想マシンとシステム イメージのトピックを参照してください。

VMware Player を使用することで、VMware 製品を購入していない同僚、パートナー、顧客、クライアントでも、VMware 仮想マシンにアクセスできます。VMware Player をダウンロードすれば、誰でも互換性のある仮想マシンを開いて実行できます。

注意 VMware Player は、VMware Player エンド ユーザー ライセンス契約の諸条件の下でその使用が許可されます。VMware は、VMware Player に関するサポートを一切提供していません。VMware Player は、当社 Web サイトからダウンロードできます。

また、VMware Player で使用する仮想アプライアンスも、当社 Web サイトの Virtual Appliance Marketplace でダウンロードできます。

自己解決のためのリソースについては、当社 Web サイトの VMware デスクトップ仮想化製品に関するセクションの VMware Player FAQ を参照してください。また、当社 Web サイトの VMware Technology Network (VMTN) セクションにある VMware Player ディスカッション フォーラムに参加することもできます。VMTN のメンバは、このフォーラムで VMware の製品、サービス、製品サポートの問題に関する情報、質問、コメントを交換できます。

この章では次のトピックについて説明します。

- [VMware Player の用途 \(P. 8\)](#)
- [VMware Player の機能 \(P. 8\)](#)

VMware Player の用途

VMware Player を使用すると、仮想マシンでさまざまなタスクを実行できます。仮想マシンの作成と実行、構築済みアプリケーションの使用と評価、ソフトウェアの配布の簡素化、同僚とのコラボレーションなどが可能です。

仮想マシンの作成と実行

デスクトップおよびサーバを本番環境にデプロイする前に、仮想マシンを作成し、デスクトップおよびサーバを仮想マシンとして構成してテストできます。多層構成の新しいアプリケーション、アプリケーションの更新、およびオペレーティングシステムのパッチを、単一の PC 上でテストできます。仮想マシン上でレガシー アプリケーションをホストできるので、オペレーティングシステムの移行が容易になり、またレガシー アプリケーションを移植する必要がなくなります。

構築済みアプリケーションの使用と評価

当社 Web サイトの Virtual Appliance Marketplace セクションで提供される構築済みアプリケーション環境をダウンロードして、仮想マシンで安全に実行できます。Virtual Appliance Marketplace では、Oracle、Red Hat、Novell、SpikeSource、IBM、MySQL などの主要ソフトウェアベンダーから提供されている仮想マシン、および人気の高いオープンソース ソフトウェアを使用して構築済みの仮想マシンが提供されています。

ソフトウェア配布の変換

仮想マシン上にソフトウェアを構成することにより、ソフトウェアの配布を簡素化できます。ユーザーは、苦労してセットアップしなくても、製品の長所をすぐに体験できます。VMware Player は、評価版コピーやベータ ソフトウェアの配布に最適です。完全な動作環境を備えた複雑で高機能のアプリケーションを仮想マシン上にパッケージ化でき、VMware Player をダウンロードすれば誰でもそれを使用できます。

同僚とのコラボレーション

VMware Player を使用することで、サポート、開発、QA の各部門は、顧客のシナリオを仮想マシンで簡単に共有できます。

VMware Player の機能

VMware Player は、仮想マシンを作成および実行するためのデスクトップ アプリケーションです。

VMware Player には次の新機能が含まれています。

- **Windows 7 および Vista ゲストでの OpenGL 2.1 のサポート** グラフィックス ベースのアプリケーションを仮想マシンで実行する能力が強化されます。
- **グラフィックス パフォーマンスの向上** Windows 7 および Vista ゲストで、パフォーマンスの強化によりベンチマーク、フレーム レート、およびレンダリング性能が向上し、グラフィックス ベースの多様なアプリケーションを実行できます。また、ビデオ再生機能も大幅に強化され、高解像度ビデオを仮想マシンで再生できます。
- **ソフトウェアの自動更新** VMware Tools、新規リリース、およびメンテナンス リリースの更新が入手可能になった時点で更新をダウンロードし、インストールします。
- **自動ログオン** ログイン認証情報を保存しておき、Windows ゲストをパワーオンしたときのログイン ダイアログボックスを省略します。ゲストを頻繁に再起動する場合、この機能を使用すると、再起動のたびにログイン認証情報を入力する必要がなくなります。自動ログオンを有効にすると、直接起動を使用して、ホストからゲストのアプリケーションを開くことができます。
- **直接起動** ゲストのアプリケーションをユニティのスタートメニューからホストのデスクトップに直接ドラッグします。ショートカットをダブルクリックしてゲストのアプリケーションを開きます。ショートカットは、ユニティを終了して VMware Player を閉じた後もデスクトップ上に残ります。

- OVF 1.0 のサポート 仮想マシンおよび vApp をインポートまたはエクスポートし、VMware vSphere または VMware Cloud にアップロードします。VMware OVF ツールは、VMware Player インストーラに付属するコマンドラインユーティリティです。このツールを VMware Player とともに使用して、VMware の **.vmx** ファイルと **.ovf** 形式の間で相互変換を行います。OVF コマンドラインユーティリティを使用することをお勧めします。詳細については、『OVF Tool ユーザーガイド』を参照してください。
- 8 Way SMP サポート 合計 8 個までのプロセッサ コアを持つ仮想マシンを作成および実行します。
- 2TB の仮想ディスクのサポート 仮想ディスクおよび Raw ディスクの最大サイズが 950GB から 2TB に増加しました。
- メモリ管理 ユーザー インターフェイスが改善され、増加した仮想メモリの処理が簡単になりました。
- ユーザー エクスペリエンス改善プログラム このプログラムに参加することにより、将来のバージョンで製品を改善するための弊社の取り組みに協力します。プログラムへの参加は任意であり、お客様はいつでも参加を中止することができます。ユーザー エクスペリエンス改善プログラムに参加したお客様のコンピュータからは、匿名の情報が弊社に送信されます。この情報には、製品の構成、仮想マシンの構成、使用状況とパフォーマンスに関するデータ、ホスト システムの仕様と構成についての情報が含まれる場合があります。

ユーザー エクスペリエンス改善プログラムでは、お客様の特定やお客様への連絡に使用できる、氏名、住所、電話番号、電子メール アドレスなどの個人データが収集されることはありません。製品のライセンス キーや MAC アドレスなど、ユーザーを特定できるデータは弊社に送信されません。弊社にてお客様の IP アドレスを送信データとともに保存することはありません。

ユーザー エクスペリエンス改善プログラムの詳細については、インストール中または VMware Player の [Player の環境設定] メニューに表示される [詳しい情報] リンクをクリックしてください。

これらの機能の使用方法について詳しくは、[ヘルプ] - [ヘルプトピック] をクリックして VMware Player のオンラインヘルプを参照してください。

VMware Player 向けのホスト システム要件

VMware Player をインストールするには、コンピュータが互換性のあるハードウェアを備えている必要があります。

VMware Player をインストールおよび使用するためのホストシステムの要件は、以下のとおりです。

- Intel VT (Intel™ Virtualization Technology) 機能が有効な標準 x86 互換または x86-64 マシン、あるいはほとんどの AMD64 プロセッサ (ただし最も古いリビジョンの C Opteron プロセッサを除く)。
- プロセッサ速度: 1.3GHz 以上
- メモリ: 1GB 以上必要。ただし、利用できるメモリは、2GB 以上を用意することをお勧めします。ホスト OS、すべての仮想マシン上のゲスト OS、およびホストとゲスト上のアプリケーションを実行するには、十分なメモリが必要です。メモリ要件の詳細については、ゲスト OS のドキュメントを参照してください。

単一のホストで動作するすべての仮想マシンに割り当てられる合計メモリ量を制約するのは、ホストの RAM サイズだけです。各仮想マシンの最大メモリ容量は、32 ビット ホストの場合は 8GB、64 ビット ホストの場合は 32GB です。32 ビット ホストでは、8GB を超えるメモリを使用するように構成された仮想マシンを VMware Player でパワーオンできません。32 ビット オペレーティングシステムのメモリ管理の制限を超えると、仮想マシン メモリのオーバーコミットを引き起こし、システムのパフォーマンスに重大な影響を与えます。

- ハード ディスク: 各ゲスト OS について 1GB 以上の空きディスク領域が推奨されます。

この章では次のトピックについて説明します。

- [互換性のある仮想マシンおよびシステム イメージ \(P. 12\)](#)
- [Virtual Symmetric Multiprocessing の使用 \(P. 12\)](#)

互換性のある仮想マシンおよびシステム イメージ

VMware Player は、VMware の製品および VMware 以外の製品で作成された仮想マシンおよびシステム イメージを実行します。

VMware Player で互換性のある仮想マシンとシステム イメージは以下のとおりです。

VMware 仮想マシン

VMware Player では、VMware Workstation 4 以降、GSX Server 3.x、VMware Server、ESX Server 2.5 以降で作成された仮想マシンを実行できます。Workstation 4 の仮想マシンは、レガシー モードで実行されます。Workstation 4 より前のバージョンで作成された仮想マシンを VMware Player で実行するには、別の VMware 製品を使用してアップグレードする必要があります。

Microsoft Virtual PC および Virtual Server 仮想マシン

Windows ホストの VMware Player では、Microsoft Virtual PC および Virtual Server 仮想マシンを実行できます。Virtual PC 仮想マシンを VMware Player で開くと、VMware 互換の構成ファイル（.vmtx ファイル拡張子）が作成され、元の Virtual PC 構成ファイル（.vmc ファイル拡張子）はそのまま保持されます。VMware 互換の仮想マシンは、元の Virtual PC 構成ファイルを変更することなく保存できます。

Symantec Backup Exec System Recovery システム イメージ

Windows ホストの VMware Player では、Symantec Backup Exec System Recovery (旧 Symantec LiveState Recovery) で作成されたシステム イメージを実行できます。Backup Exec System Recovery システム イメージを VMware Player で開くと、VMware Player では VMware 互換の構成ファイル（.vmtx）が作成され、元の Backup Exec System Recovery システム イメージ ファイル（.sv2i）はそのまま保持されます。

Virtual Symmetric Multiprocessing の使用

仮想対称型マルチプロセッシング (SMP) を使用すると、少なくとも 2 つの論理プロセッサを持つ任意のホスト マシン上の仮想マシンに、最大で 8 つのプロセッサを割り当てることができます。

次のホストは 2 つ以上の論理プロセッサを備えていると見なされます。

- 2 つ以上の物理 CPU を備えたマルチプロセッサ ホスト
- マルチコア CPU を備えたシングルプロセッサ ホスト
- ハイパースレッド対応のシングルプロセッサ ホスト

注意 ハイパースレッド処理されているユニプロセッサ ホストでは、仮想 SMP を持つ仮想マシンのパフォーマンスが標準を下回る場合があります。

VMware Player を使用すると、複数のデュアルプロセッサ仮想マシンを同時にパワーオンして実行できます。

VMware Playerでサポートされるホスト OS およびゲスト OS

3

VMware Playerで稼動する仮想マシンに対してサポートされるホスト OS およびゲスト OS の一覧を調べて、使用しているコンピュータのオペレーティング システムに VMware Player をインストールできるかどうかを確認できます。

VMware Player のインストールに必要なディスク領域は、Windows では約 250MB、Linux では約 200MB です。インストールが完了した後でインストーラを削除して、ディスク領域を再利用できます。

ホスト OS とゲスト OS のサポートおよび既知の問題については、当社 Web サイトの [サポート] タブをクリックしてください。[ドキュメント] の下の [互換性ガイド(英語)] リンクをクリックします。

VMware Player は掲載されていませんが、VMware Workstation 7.x の情報が VMware Player 3.x にも適用されます。リストに記載されていないオペレーティング システムは、仮想マシンでの使用はサポートされていません。

64 ビット ゲスト OS 対応プロセッサ

64 ビット ゲスト OS の仮想マシンをパワーオンすると、VMware Player によって内部確認が行われます。ホスト CPU がサポートされていない 64 ビット プロセッサの場合、仮想マシンをパワーオンすることはできません。

VMware Player は、以下のプロセッサを搭載するホスト マシン上で実行される 64 ビット ゲスト OS の仮想マシンをサポートしています。

- AMD Athlon 64 のリビジョン D 以降、Opteron、Turion 64、Sempron
- EM64T および Intel Virtualization Technology を備えた Intel Pentium 4 および Core 2 プロセッサ

さらに、VMware が提供するスタンドアロンユーティリティを利用することで、VMware Player を使用せずに、ホスト CPU が 64 ビット ゲスト OS の VMware Player 仮想マシンに対応しているかどうかを確認できます。64 ビット プロセッサの確認ユーティリティは、当社 Web サイトのダウンロード エリアからダウンロードしてください。

VMware Player のインストールと実行

VMware Player のインストールでは、Windows ホストおよびLinux ホストにインストールするための製品 CD が必要です。

製品 CD がお手元にはない場合は、当社 Web サイトから VMware Player をダウンロードしてください。

自動再生を有効にした状態で CD から VMware Player をインストールする場合は、CD-ROM ドライブに CD を挿入すると表示されるプロンプトに従って操作します。

自動再生を有効にしていない状態で CD から VMware Player をインストールする場合は、CD の Windows ディレクトリにある **VMware-Player-<<xxxxx>>.exe** インストーラ ファイルをダブルクリックします。ファイル名の <<xxxxx>> は、バージョンとビルド番号を表す一連の数字です。

- [Windows ホストへの VMware Player のインストール](#) (P. 15)
仮想マシンの作成と構成を始めるには、Windows ホストに VMware Player をインストールする必要があります。
- [Linux ホストへの VMware Player のインストール](#) (P. 16)
仮想マシンの作成と構成を始めるには、Linux ホストに VMware Player をインストールする必要があります。
- [VMware Player の起動](#) (P. 18)
VMware Player を起動するには、**.vmx** 仮想マシン構成ファイルを開く必要があります。
- [VMware Player の終了](#) (P. 18)
ホスト コンピュータをシャットダウンする前に VMware Player を終了します。

Windows ホストへの VMware Player のインストール

仮想マシンの作成と構成を始めるには、Windows ホストに VMware Player をインストールする必要があります。

ソフトウェアをすでにダウンロードしている場合は、インストールを行います。CD にある Windows ディレクトリではなくインストーラ ファイルを保存したディレクトリからインストールを実行します。

開始する前に

ホスト OS およびゲスト OS がサポートされていることを確認します。[第 3 章 \[VMware Player でサポートされるホスト OS およびゲスト OS \(P. 13\)\]](#) を参照してください。

手順

- 1 [ようこそ] ページで、[次へ] をクリックします。
- 2 [インストール先フォルダ] ページで、VMware Player ファイルの場所を選択します。
 - デフォルトの場所に VMware Player をインストールする場合は、[次へ] をクリックします。
 - VMware Player ファイル用に別の場所を選択するには、[変更] をクリックします。別の場所を設定したら、[OK] をクリックし、次に [次へ] をクリックします。

- 3 (オプション) [起動時に製品の更新を確認する] を選択または選択解除することで、VMware Player の起動時に製品の更新チェックを行うかどうかを指定できます。
製品の更新には、VMware Player の新しいリリースも含まれます。
最新のソフトウェア更新を提供するために収集される情報の詳細を確認するには、[詳しい情報] をクリックします。
- 4 (オプション) 製品の更新の設定を変更するには、[ファイル] - [Player の環境設定] メニューを選択します。
- 5 [次へ] をクリックします。
- 6 (オプション) 製品の改善のために VMware が匿名のシステム データおよび使用状況の統計を収集してもよいかどうかを確認します。
データ収集プロセスがコンピュータのパフォーマンスに影響を及ぼすことはありません。
収集される情報の詳細を確認するには [詳しい情報] をクリックします。
- 7 (オプション) ユーザー エクスペリエンス改善プログラムの設定を変更するには、[ファイル] - [Player の環境設定] メニューを選択します。
- 8 [次へ] をクリックします。
- 9 (オプション) [ショートカット] ページのショートカットを任意で選択解除して [次へ] をクリックします。
- 10 [続ける] をクリックすると、インストールが開始されます。
VMware Player および選択したショートカットがホスト マシンにインストールされます。

Linux ホストへの VMware Player のインストール

仮想マシンの作成と構成を始めるには、Linux ホストに VMware Player をインストールする必要があります。

ソフトウェアをすでにダウンロードしている場合は、インストールを行います。CD にある Linux ディレクトリではなくインストーラ ファイルを保存したディレクトリからインストールを実行します。

注意 VMware Player のインストール時にホストオンリー ネットワークを有効にしておかないと、仮想マシンではブリッジ ネットワークとホストオンリー ネットワークを使用できません。

開始する前に

ホスト OS およびゲスト OS がサポートされていることを確認します。第 3 章 [VMware Player でサポートされるホスト OS およびゲスト OS (P. 13)] を参照してください。

手順

- 1 VMware Player の実行時に使用する予定のユーザー名を使用して、Linux ホストにログインします。
- 2 初期のインストール手順を実行するために、ターミナル ウィンドウで以下のコマンドを実行して root ユーザーに切り替えます。

su or sudo

使用するコマンドは、Linux ディストリビューションおよび構成によって異なります。

- 3 ダウンロードしたファイルからインストールを行う場合は、VMware Player の CD-ROM をマウントします。

■ **VMware-Player-e.x.p-<<xxxxxxx>>.i386.bundle**

■ **VMware-Player-e.x.p-<<xxxxxxx>>.x86_64.bundle**

VMware-Player-<<バージョン>>-<<xxxx>>.<<アーキテクチャ>>.bundle がインストール ファイルです。ファイル名の <<xxxx-xxxx>> はバージョンとビルド番号を表します。

- 4 インストール ファイル (.bundle) を指定してシェルを実行します。

sh VMware-Player-e.x.p-<<xxxxxxx>>.<<アーキテクチャ>>.bundle

- 5 EULA に同意して続行します。
- 6 (オプション) [はい] または [いいえ] のいずれかを選択し、VMware Player の起動時に製品の更新チェックを行うかどうかを指定します。
製品の更新には、VMware Player の新しいリリースも含まれます。
最新のソフトウェア更新を提供するために収集される情報の詳細を確認するには、[詳しい情報] をクリックします。
- 7 (オプション) 製品の更新の設定を変更するには、[ファイル] - [Player の環境設定] メニューを選択します。
- 8 [次へ] をクリックします。
- 9 (オプション) 製品の改善のために VMware が匿名のシステム データおよび使用状況の統計を収集してもよいかどうかを確認します。
データ収集プロセスがコンピュータのパフォーマンスに影響を及ぼすことはありません。
収集される情報の詳細を確認するには [詳しい情報] をクリックします。
- 10 (オプション) ユーザー エクスペリエンス改善プログラムの設定を変更するには、[ファイル] - [Player の環境設定] メニューを選択します。
- 11 [次へ] をクリックします。
- 12 [インストール] をクリックします。
- 13 (オプション) GUI ベースの VMware Player インストーラが失敗した場合は、端末で **--console** コマンドを使用してインストール ファイルを実行してください。

コマンドライン インストール オプション

コマンドライン インストール オプションを使用して、Linux ホストに VMware Player をインストールできます。

コマンドライン インストール オプション リファレンス

このオプションを使用するには、root としてログインする必要があります。インストール プロセスが終了したら、root アカウントからログアウトします。

表 4-1. コマンドライン インストール オプション一覧

コマンドライン インストール オプション	オプションの説明
--gtk	GUI ベースの VMware インストーラを開きます。デフォルトのオプションです。
--console	インストールに端末を使用できるようにします。
--custom	インストールに関するすべての質問を表示します。インストール ディレクトリをカスタマイズしたり、Eclipse ディレクトリを設定またはリセットしたり、開いているファイル記述子の数にハード制限を設定したりすることができます。
--regular	それまでに回答されていないインストールに関する質問または必須の質問を表示します。デフォルトのオプションです。
--required	EULA ののみを表示し、続けて VMware Player をインストールします。
--ignore-errors または -I	いずれかのインストーラ スクリプトにエラーがあっても、インストールを続行できるようにします。ただし、エラーが発生したセクションは完了しないため、コンポーネントが正常に構成されない可能性があります。

VMware Player の起動

VMware Player を起動するには、**.vmx** 仮想マシン構成ファイルを開く必要があります。

手順

- 1 Windows では [スタート] - [プログラム] - [VMware Player] を選択し、Linux の X Window セッションでは対応するプログラム メニューを使用します。
 - Windows では、[スタート] - [ファイル名を指定して実行] コマンドメニューから **vmplayer** と入力します。コマンドインタープリタで **<<パス>>%vmplayer.exe** と入力することもできます。<<パス>> はシステム上での VMware Player 実行可能ファイルのパスを表します。
 - Linux のコマンドラインから、**<<パス>>/vmplayer** と入力します。<<パス>> はシステム上での VMware Player 実行可能ファイルのパスを表します。バックグラウンドで VMware Player プロセスを実行するには、**<<パス>>/vmplayer &** と入力します。
- 2 VMware Player のようこそページで、[VM を開く] を選択します。
- 3 実行する仮想マシンの構成ファイルを参照します。

最近使用した仮想マシンを選択したり、Virtual Appliance Marketplace から仮想アプライアンスをダウンロードしたりすることもできます。

[ファイルの種類] フィールドを使用すると、参照するときに表示されるファイルにフィルタを適用できます。

VMware Player では、VMware 構成ファイル (**.vmx**)、OVF、および OVA ファイルを開くことができます。Windows 上の VMware Player では、Microsoft Virtual PC および Virtual Server ファイル (**.vmc**)、および Symantec Backup Exec System Recovery システム イメージ (**.sv2i**) を開くことができます。

- 4 仮想マシン構成ファイル (**.vmx**) を選択し、[開く] をクリックします。

VMware Player の終了

ホスト コンピュータをシャットダウンする前に VMware Player を終了します。

Linux では、終了時の動作の環境設定に応じて仮想マシンがサスペンドまたはシャットダウンし、VMware Player ウィンドウが閉じます。

ACE インスタンスの場合、ドロップダウン メニューに表示されるオプションは、システム管理者がどの機能を利用可能に設定したかによって異なります。

手順

- Windows では、[ファイル] - [終了] を選択します。
- Linux では、終了時の動作の設定に基づいて選択します。
 - [ファイル] - [パワーオフして終了] を選択します。
 - [ファイル] - [サスペンドして終了] を選択します。
 - [ファイル] - [パワーオフしてライブラリに戻る] を選択します。
 - [ファイル] - [サスペンドしてライブラリに戻る] を選択します。

VMware Player のアンインストール

以下のセクションでは、Windows および Linux ホストから VMware Player をアンインストールする方法について説明します。

- [Windows ホストの VMware Player のアンインストール \(P. 19\)](#)
最新バージョンの VMware Player を Windows ホストにインストールするには、先に以前のバージョンの製品をアンインストールする必要があります。
- [Windows Vista または Windows 7 ホスト上の VMware Player のアンインストール \(P. 20\)](#)
最新バージョンの VMware Player を Windows Vista または Windows 7 ホストにインストールするには、先に以前のバージョンの製品をアンインストールする必要があります。
- [Linux ホスト上の VMware Player のアンインストール \(P. 20\)](#)
最新バージョンの VMware Player を Linux ホストにインストールするには、先に以前のバージョンの製品をアンインストールする必要があります。

Windows ホストの VMware Player のアンインストール

最新バージョンの VMware Player を Windows ホストにインストールするには、先に以前のバージョンの製品をアンインストールする必要があります。

手順

- 1 [スタート] - [コントロール パネル] - [プログラムの追加と削除] を選択します。
- 2 現在インストールされているプログラムのリストで [VMware Player] を探して、[削除] をクリックします。
- 3 プロンプトに従ってアンインストールを完了します。

Windows Vista または Windows 7 ホスト上の VMware Player のアンインストール

最新バージョンの VMware Player を Windows Vista または Windows 7 ホストにインストールするには、先に以前のバージョンの製品をアンインストールする必要があります。

手順

- 1 ホスト OS の種類に応じて、次のいずれかの方法を使って VMware Player をアンインストールします。
 - Windows Vista では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムと機能] - [プログラムのアンインストール] を選択します。
 - Windows 7 では、[スタート] - [コントロール パネル] - [プログラム] - [プログラムと機能] - [プログラムのアンインストール] を選択します。
- 2 右クリックして [アンインストール] をクリックします。
確認ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 [はい] を選択します。

Linux ホスト上の VMware Player のアンインストール

最新バージョンの VMware Player を Linux ホストにインストールするには、先に以前のバージョンの製品をアンインストールする必要があります。

手順

- 1 システムから VMware Player を削除するには、**vmware-installer -u vmware-player** コマンドを入力します。
- 2 [Yes] または [No] と入力して、構成ファイルを保存するか、または削除するかどうかを確認します。

インデックス

L

Linux インストール オプション 17

V

Virtual Symmetric Multiprocessing (SMP) 12

VMware Player

インストール 15

概要 7

起動 18

機能 8

終了 18

使用 8

VMware Player のアンインストール

Linux 20

Windows 19

Windows Vista 20

VMware Player のインストール

Linux ホスト 16

Windows ホスト 15

け

ゲスト OS、64 ビット 13

こ

互換性のある仮想マシンおよびシステム イメージ 12

た

対象となる読者 5

と

ドキュメントのフィードバック 5

ほ

ホスト OS 13

ホスト システムの要件 11

り

リソース 5

